

用 語 集

No	初出頁	計画内で書かれている用語・単語・名称等	内容説明・解説
1	計画書 P1	特定健康診査	高齢者の医療の確保に関する法律に基づき、生活習慣病を予防するという観点で、平成20年4月から医療保険者に義務付けられた40歳から74歳までを対象とする健診。
2	計画書 P1	診療報酬明細書（レセプト）	患者が受けた診療について、医療機関が保険者（市町村や健康保険組合等）に請求する医療費の明細書。
3	計画書 P1	国保データベースシステム（KDB）	国保中央会が開発したデータ分析システムのこと。医療費だけではなく、健診情報や介護認定情報も併せて分析できるシステム。
4	計画書 P1	日本再興戦略	平成25年6月14日に閣議決定され、経済成長に向けて民間活力を引き出すことを主目的に産業基盤の強化策を打ち出した成長戦略で、安部政権の経済政策であるアベノミクスの3本の矢（第1の矢：「大胆な金融政策」第2の矢：「機動的な財政政策」）のうちの第3の矢といわれている。その中で健康長寿社会の実現を目指している。
5	計画書 P1	保健事業実施計画（データヘルス計画）	特定健診の結果やレセプト等のデータ、介護保険の認定状況等を活用し、PDCAサイクルの考えに基づき効果的かつ効率的な保健事業を行うための実施計画。
6	計画書 P1	特定健診等実施計画	国民健康保険に加入する被保険者に対して特定健診等の実施方法に関する基本的な事項及び実施、並びにその成果に係る目標に関する基本的事項について定めた実施計画。
7	計画書 P1	ポピュレーションアプローチ	対象を一定に限定しない集団全体にアプローチをし、全体としてリスクを下げたいこうという考え方。
8	計画書 P1	持続可能な医療保険制度を構築するための国民健康保険法の一部を改正する法律	将来にわたり医療保険制度を持続可能なものとし、国民皆保険を維持していくために財政措置を主とした制度改革。
9	計画書 P1	インセンティブ	社会行動をある行動に向かわせるための理由として、最終的には金銭面で有利になるような方向で行われる施策を指す。
10	計画書 P1	保険者努力支援制度	生活習慣病の予防に取り組むなどして、医療費を抑制する自治体に対する支援制度。
11	計画書 P1	生活習慣病	糖尿病、循環器病（脳血管疾患・心疾患など）、がん、肥満、歯周病など、食生活、運動、休養、喫煙及び飲酒など日常生活習慣のあり方が心身の健康状態を悪化することに大きく影響し、発症する疾病のこと。
12	計画書 P2	21世紀における国民健康づくり運動（健康日本21（第2次））	壮年期の死亡の減少や健康寿命の延伸を実現し、全ての人の生活の質の向上を図ることを目的としている。特に生活習慣病の一次予防に重点を置き、個人が主体的に健康づくりに取り組むことを重視し、科学的根拠に基づき対象者を明確にしたうえで、地域の実情に即した目標を設定して取り組むために策定された計画。

No	初出頁	計画内で書かれている用語・単語・名称等	内容説明・解説
13	計画書 P2	医療費適正化計画	医療費の伸びを抑えるため、国と都道府県が策定する医療費の抑制計画。
14	計画書 P2	メタボリックシンドローム	心筋梗塞や脳梗塞発症などの危険性を高める内臓肥満症候群のこと。内臓脂肪が蓄積し、脂質異常・高血圧・高血糖の2つ以上が当てはまると、メタボリックシンドロームと診断される。
15	計画書 P2	脂質異常症	血液に含まれるコレステロールや中性脂肪などの脂質が、一定の基準よりも多い状態のことを言う。以前は高脂血症とも言われていた。血液中に余分な脂質が多くなると、動脈硬化症を起しやすくなり、心筋梗塞や脳梗塞等のリスクが高くなる。
16	計画書 P2	虚血性心疾患	心臓を動かしている筋肉である心筋の血液の流れが低下、または遮断され障害が生じた状態を言う。主な疾患は、狭心症と心筋梗塞で、その多くは、冠動脈（心筋に酸素・栄養を送る血管）が動脈硬化で狭くなったり、詰まったりすることが原因といわれている。慢性冠動脈疾患である労作性狭心症と異型狭心症、急性冠症候群である不安定狭心症と急性心筋梗塞に分けられる。
17	計画書 P2	糖尿病性腎症	糖尿病の合併症の一つで、腎臓の機能（主に糸球体）に障害が起きること。
18	計画書 P2	透析	糖尿病性腎症や慢性糸球体腎炎等で腎臓の働きが著しく低下し、体内の老廃物を除去できなくなった場合などに、人工的に血液を浄化する方法。
19	計画書 P2	脳血管疾患	<p>脳内の動脈が破れたり、詰まったりすることで血液が流れなくなり、脳に障害が及ぶもので、一般に脳卒中と呼ばれるものなど、脳血管に関する病気の総称。</p> <p>脳の血管が破れて出血する脳出血、クモ膜下出血、脳内の血管が詰まる脳梗塞に大別され、脳梗塞は、さらにラクナ梗塞、アテローム血栓性脳梗塞、心原性脳塞栓症に大別される。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ラクナ梗塞：穿通枝（せんつうし）という脳内の微小血管が詰まるもの。 ・アテローム血栓性脳梗塞：血管の壁にLDLコレステロールが沈着し、血管が狭くなり、最終的に血管が詰まるもの。 ・心原性脳塞栓症：心房細動などの心臓の異常により、心臓内にできた血栓（血液の塊）が脳へ移動し、脳の血管が詰まるもの。
20	計画書 P2	健康格差	地域や社会経済状況の違いによる集団・個人における健康状態の差。
21	計画書 P2	ライフスタイル	生活様式とも呼ばれる。生活の様式、営み方。また、人生観・価値観・習慣などを含めた個人の生き方。
22	計画書 P3	国民健康保険団体連合会	国民健康保険法第83条に基づき、会員である保険者（市町村及び国保組合）が、共同して国保事業の目的を達成するために必要な事業を行うことを目的として設立された公法人。

No	初出頁	計画内で書かれている用語・単語・名称等	内容説明・解説
23	計画書 P3	保健事業支援・評価委員会	国民健康保険の保険者及び後期高齢者医療広域連合が行う保健事業の実施計画（データヘルス計画）の策定、実施、評価等の支援を行うことを目的に都道府県国民健康保険団体連合会に設置された組織。
24	計画書 P4	糖尿病対策推進会議	糖尿病対策のより一層の推進を図ることを目的に、日本医師会、日本糖尿病学会、日本糖尿病協会の三者で設立された団体。
25	計画書 P4	保険者協議会	平成16年8月に施行された国民健康保険法、健康保険法に基づく保健事業の実施等に関する指針において、保険者が連携・協力して地域の特性に応じた健康づくりを行うという趣旨により、各都道府県に設立されている。
26	計画書 P5	特別調整交付金	地域的な特別事情による給付費増など全国レベルの財政調整が望ましいものや保健事業など施策の推進に必要な取組等に対して交付されるもの。
27	計画書 P5	歯周疾患（病）	細菌の感背によって引き起こされる炎症性疾患。歯肉炎から始まり、進行すると歯を支える土台（歯槽骨）が溶けて、抜歯が必要となる病気。
28	計画書 P5	後発医薬品	ジェネリック医薬品とも呼ばれる。新薬（先発医薬品）の独占的販売期間が終了した後に販売される、新薬と同じ成分、同じ効き目の価格の安いお薬。
29	計画書 P5	地域包括ケア	重度な要介護状態となっても、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを最後まで続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供されるケア。
30	計画書 P5	第三者求償	交通事故等、第三者（加害者）の不法行為によって生じた保険給付について保険者（市町村）が立て替えた医療費等を加害者に対して損害賠償請求すること。
31	計画書 P6	高齢化率	65歳以上人口が総人口に占める割合をいう。
32	計画書 P6	同規模	全国のKDBシステム導入市町村の中で、町と同規模人口（人口2万人以上）の市町村を指す。
33	計画書 P6	第1次産業	原材料・食料など最も基礎的な生産物の生産に関わる産業。農林水産業など。
34	計画書 P6	第3次産業	第3次産業：商業・運輸・通信・金融・公務・サービス業・電気・ガス・水道業などをいう。
35	計画書 P6	平均寿命	0歳児が平均で何年生きられるのかを表した統計値のこと。
36	計画書 P6	健康寿命	WHOが2000年に公表した新たな定義。健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間と定義されている。
37	計画書 P6	早世	65歳未満の死亡のこと。
38	計画書 P6	介護保険	高齢者の介護サービスや介護支援を保障するための社会保険制度の一種。平成12年に施行された介護保険法に基づいて実施されるもので、市町村が運営し、被保険者はその住民で、65歳以上の者（第1号保険者）と40歳以上65歳未満で医療保険に加入している者（第2号保険者）とに分類される。

No	初出頁	計画内で書かれている用語・単語・名称等	内容説明・解説
39	計画書 P6	1号認定者	65歳以上の被保険者。
40	計画書 P6	2号認定者	40歳以上65歳未満の被保険者。
41	計画書 P6	診療所	診療所は入院できる設備が全くないか、19床以下の施設のこと。
42	計画書 P7	標準化死亡比 (SMR)	死亡者数を人口で除した死亡率で比較すると、高齢者の多い地域では死亡率が高くなる傾向があるため、人口構成の違いを除去して死亡率を比較するための指標。国平均を100とし100以上は国平均より死亡率が高く、100以下は低いとされる。
43	計画書 P7	脳疾患	くも膜下出血、脳内出血、脳梗塞などの脳血管疾患を指す。
44	計画書 P7	介護給付費	1年間の介護保険給付費の総額のこと。介護給付にかかる費用及び予防給付に要する費用の総額。
45	計画書 P7	病院	病院とは、入院できるベット数が20床以上の医療機関のこと。
46	計画書 P7	特定保健指導	内臓脂肪型肥満に着目し、その要因となっている生活習慣の改善のために行う保健指導のこと。糖尿病等の生活習慣病の有病者・予備軍を減少させること（病気の予防）を目的としている。
47	計画書 P8	慢性閉塞性肺疾患 (COPD)	長期にわたりタバコなどの有毒な粒子やガスの吸入が原因となり、肺に炎症がおき、呼吸に支障をきたす疾患。慢性気管支炎と肺気腫の総称。
48	計画書 P9	高血圧のリスク因子	高齢（65歳以上）、禁煙、脂質異常症、肥満、メタボリックシンドローム、家族歴などの高血圧の危険因子。
49	計画書 P9	I度高血圧	高血圧治療ガイドラインによって、高血圧に分類される値。I度～Ⅲ度に分類される。I度高血圧は、収縮期が140～159mmHgまたは拡張期が90～99mmHg。
50	計画書 P9	ガイドライン	専門家の集まりである学会が検討を重ねて作成したもので、信頼のおける研究結果に基づいて、最新の治療法を含め多くの情報から、有効性、安全性などを整理して診療の指針が示されている。
51	計画書 P9	Ⅱ度高血圧	高血圧治療ガイドラインによって、高血圧に分類される値。I度～Ⅲ度に分類される。Ⅱ度高血圧は、縮期血圧が160～179mmHgまたは拡張期血圧が100～109mmHg。
52	計画書 P9	LDLコレステロール (LDL-C)	低比重リポ蛋白 (LDL) として血中に存在するコレステロール。HDLコレステロールが善玉コレステロールと呼ばれるのに対し、悪玉コレステロールと呼ばれる。LDLは肝臓で作られたコレステロールを体内の抹消まで運ぶ機能があり、過剰になると動脈硬化の原因となる。

No	初出頁	計画内で書かれている用語・単語・名称等	内容説明・解説		
53	計画書 P9	中性脂肪	肝臓で作られたり、食物から吸収されたりする脂質の一種で、体を動かしたり、体温を保持したりするエネルギー源となる。中性脂肪の値が高くなり、皮下脂肪や肝臓などに過剰に蓄積されると、脂質異常症やメタボリックシンドローム、脂肪肝、肥満、動脈硬化などへとつながっていく。		
54	計画書 P9	HbA1c	ヘモグロビンエーワンシー又はエイチビーエーワンシーと読む。赤血球の中にある酸素を運ぶヘモグロビンに血液中の糖が結合したもので、過去1~2か月間の平均血糖値を表す。		
55	計画書 P9	頸動脈超音波検査	頸動脈の血流や血管内の様子を検査することで、動脈硬化の有無や、血管のつまり具合の観察、プラーク（動脈硬化を起こしている血管の壁が厚くなった部分）観察などができる検査。		
56	計画書 P11	eGFR	推算糸球体ろ過量の略で、腎臓の糸球体における血液のろ過量を表す。血清クレアチニン値及び年齢・性別の条件を用い、日本人の体格を考慮した推算式に入れて算出する。		
57	計画書 P11	顕性アルブミン尿	蛋白尿が持続的に陽性となる状態をいう。		
58	計画書 P12	CKD重症度分類	原因、腎機能、蛋白尿によって分類される。リスクが高いほど、末期腎不全や心血管死亡のリスクが高くなる。 CKDの定義 ①蛋白尿など、腎障害の存在を示す所見 ②腎機能低下（eGFR画60mL/分/1.73m ² ） ①②のいずれか、または両方が3ヶ月以上持続する状態。		
			病気ステージ	重症度の分類	進行度による分類 eGFR (ml/分/1.73)
			G1	正常または高値	≥90
			G2	正常又は軽度低下	60~80
			G3a	軽度~中等度低下	45~59
			G3b	中等度~高度低下	30~44
			G4	高度低下	15~29
			G5	末期腎不全	< 15
59	計画書 P12	G3aA1	CKD診療ガイドによるCKD（慢性腎臓病）重症度分類の区分のひとつ。		
60	計画書 P21	老年人口	65歳以上の人口をいう。		
61	計画書 P21	年少、生産年齢人口	年少人口は、0~14歳、生産年齢人口は15~64歳人口をいう。		

No	初出頁	計画内で書かれている用語・単語・名称等	内容説明・解説
62	計画書 P23	悪性新生物（がん）	遺伝子変異によって自立的で制御されない増殖を行うようになった細胞集団（腫瘍）のなかで、周囲の組織に浸潤し、または転移を起こす腫瘍であり、そのほとんどは無治療のままだと全身に転移して死に至らしめるとされる病気。
63	計画書 P23	クモ膜下出血	脳の表面をおおう膜のひとつである「くも膜」の下に出血がある状態。原因は、脳の血管のふくらみである「脳動脈瘤」の破裂がほとんどを占める。
64	計画書 P23	脳内出血	脳の血管が何らかの原因で破れて、脳の中に出血した状態。
65	計画書 P23	脳梗塞	脳の血管が細くなったり、詰まったりして、脳に酸素や栄養が送られなくなるために、脳の細胞が障害を受ける状態。
66	計画書 P34	BMI	「体重 (Kg) ÷身長 (m) ÷身長 (m)」で算出される体格指数のことで、肥満度を測るための標準的な指標。Body Mass Index の略。
67	計画書 P34	ALT	肝臓に多く含まれる酵素の一種。肝臓の状態を示すバロメーターの一つ。
68	計画書 P34	HDL-C (コレステロール)	高比重リポ蛋白 (HDL) として血中に存在するコレステロール。LDLコレステロールが悪玉コレステロールと呼ばれるのに対し、善玉コレステロールと呼ばれ、主に体内の組織からコレステロールを受け取り、肝臓に運ぶ時の形体のことをいう。
69	計画書 P34	収縮期血圧	心臓が収縮して全身に血液を送り出すときに、血管にかかる圧のこと。いわゆる上の血圧のこと。
70	計画書 P34	拡張期血圧	心臓が拡張して全身から心臓に血液が戻ってくるときに、血管にかかる圧のこと。いわゆる下の血圧のこと。
71	計画書 P34	クレアチニン	主に腎機能の指標に用いられる数値。クレアチニンとは、筋肉中に含まれるクレアチン（筋肉を動かすときに必要なエネルギー物質）が分解されるときにできる物質のこと。高いと、腎機能低下や筋肉疲労の可能性がある。
72	計画書 P45	日本人の食事摂取基準 (2015年版)	健康な個人並びに集団を対象として、国民の健康の保持・増進、生活習慣病の予防のために参照するエネルギー及び栄養素の摂取量の基準を国が示したもの。2015年版では健康の保持・増進とともに、生活習慣病の発症予防、重症化予防も視野に入れ策定している。
73	計画書 P45	CKD (慢性腎臓病)	一疾患名を示すものではなく、慢性に進行する各種腎疾患によって、不可逆的に腎機能が徐々に低下する病態。CKDはChronic Kidney Diseaseの略。
74	計画書 P47	地域包括支援センター	介護保険法で定められた、地域住民の保健・福祉・医療の向上、虐待防止、介護予防マネジメントなどを総合的に行う機関。

No	初出頁	計画内で書かれている用語・単語・名称等	内容説明・解説
75	計画書 P47	福島県糖尿病性腎症重症化予防プログラム	糖尿病が重症化するリスクが高い対象者を選定し、保険者や医療機関等の関係機関が連携して重症化予防対象者へ必要なアプローチを行い、心血管病、末期腎不全を防止していくことを目標に、平成29年12月11日に、福島県医師会、福島県糖尿病対策推進会議、福島県の三者で示したプログラム。
76	計画書 P57	AST	肝臓に多く含まれる酵素の一種。肝臓の状態を示すパロメーターの一つ。
77	計画書 P57	γ -GT	腎臓や肝臓に多く含まれる酵素の一種。肝臓の状態を示すパロメーターの一つで、アルコールに敏感に反応する。
78	計画書 P57	12誘導心電図	最も一般的な心電図。四肢と胸部から、12種の波形が記録される。
79	参考資料 P1	ロコモティブシンドローム	骨、関節、筋肉などの運動器の障害のために、要支援になったり、要介護になったりする危険が高い状態。
80	参考資料 P1	メンタルヘルス	心の健康のことで、いきいきと自分らしく生きるための重要な条件。具体的には、自分の感情に気づいて表現できること（情緒的健康）、状況に応じて適切に考え、現実的な問題解決ができること（知的健康）、他人や社会と建設的で良い関係を築けること（社会的健康）を意味する。
81	参考資料 P1	血糖コントロール	高血糖による合併症を起こさないために、個別に設定された値を目標として、食事療法、運動療法、薬物療法などを行うこと。主にHbA1cが目安となる。
82	参考資料 P1	介護保険事業（支援）計画	地方自治体が策定する介護保険の介護給付を円滑に実施するための計画。
83	参考資料 P1	糖尿病性神経障害	糖尿病の合併症の一つで、主に末梢神経に障害がおきること。
84	参考資料 P1	糖尿病性網膜症	糖尿病の合併症の一つで、眼の中にある網膜（ものを見るために重要な役割をする）に障害がおきること。
85	参考資料 P1	閉塞性動脈硬化症	足の血管の動脈硬化がすすみ、血管が細くなったり、つまったりして、十分な血量が保てなくなる病気。
86	参考資料 P1	早老症	“早期老化症”とも呼ばれ、老化の兆候が実際の年齢よりも早く、全身にわたってみられる病気の総称。
87	参考資料 P1	骨粗鬆症	骨の量が減少したり、骨の質が劣化して骨が弱くなり、骨折しやすくなる病気。
88	参考資料 P1	パーキンソン病	脳の異常のために、手足がふるえる、動きが遅くなる、筋肉が硬くなる、体のバランスが悪くなるなどの、体の動きに障害が現れる病気。
89	参考資料 P1	脊髄小脳変性症	歩行時のふらつき、手のふるえ、ろれつがまわらない等、運動失調症状をきたす変性による病気の総称。主に小脳という、後頭部の下側にある脳の一部分が病気になった時に症状が現れるが、原因はさまざま。

No	初出頁	計画内で書かれている用語・単語・名称等	内容説明・解説
90	参考資料 P1	脊柱管狭窄症	脊柱管（背髄の神経が通るトンネル）が加齢や背骨の病気などで狭くなることで神経症状などが出る病気。最も特徴的な症状は、歩行と休息を繰り返す間歇性跛行（かんげつせいはこう）。
91	参考資料 P1	関節リウマチ	関節が炎症を起こし、軟骨や骨が破壊されて関節の機能が損なわれ、放っておくと関節が変形してしまう病気。
92	参考資料 P1	変形性膝関節症	筋力低下、加齢、肥満などによって、膝関節の軟骨がすり減ったりして、膝関節の変形が起こる病気。
93	参考資料 P1	多系統萎縮症	成年期（30歳以降、多くは40歳以降）に発症する、代表的な神経変性疾患のひとつ。
94	参考資料 P1	筋萎縮性側索硬化症	手足、のど、舌の筋肉や呼吸に必要な筋肉がだんだんやせて、力がなくなっていく病気。
95	参考資料 P1	後縦靭帯硬化症	背髄の前のほうにある後縦靭帯が厚くなり、骨に変わる病気。
96	参考資料 P1	高齢者の医療の確保に関する法律	「高齢者の医療の確保に関する法律」の略。1982（昭和57）年に制定された「老人保健法」から変更された法律。従来の老人保険制度を全面的に改正し、高齢者の医療費の適正化を推進することを目的に定められた。このことにより、75歳以上の高齢者は2008（平成20）年から後期高齢者医療制度に加入することになった。また、保健事業として、40歳から74歳の者を対象に特定健康診査及び特定保健指導などの基本方針を定め、高齢期における健康の保持のための事業を積極的に推進することが、保険者に義務付けられた。
97	参考資料 P1	国民皆保険	原則として、全ての国民が何らかの公的医療保険に加入する制度。
98	参考資料 P1	医療計画	日常生活圏で通常必要とされる医療の確保のため、都道府県が作成する整備計画。
99	参考資料 P1	心筋梗塞	虚血性心疾患のうちの一つ。心臓の筋肉細胞に酸素や栄養を供給している冠動脈血管が詰まったり狭くなったりして、心筋が壊死してしまう病気。
100	参考資料 P1	心血管疾患	動脈硬化を基礎疾患とした病気。脳卒中や心筋梗塞などが含まれる。
101	参考資料 P1	5疾病・5事業	医療計画の中で、医療連携を図るために特に必要と認められたもの。 5疾病：がん、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病、精神疾患。 5事業（救急医療、災害時における医療、へき地の医療、周産期医療、小児医療（小児救急医療を含む））
102	参考資料 P9	Ⅲ度高血圧	高血圧治療ガイドラインによって、高血圧に分類される値。Ⅰ度～Ⅲ度に分類される。 Ⅲ度高血圧は、収縮期血圧が180mmHg以上または拡張期血圧が110mmHg以上。